

YOKOSHIN NEWS

平成27年4月2日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について

—平成27年1～3月期実績、4～6月期予想—

横浜信用金庫(理事長 大前 茂)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】業況は足踏み状態、来期はプラスに転じる見込み

- 今期(平成27年1～3月期)の業況判断DIは、前期と変わらず0.0となった。来期は、今期より4.2ポイント上昇の4.2と、改善を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは前期比1.9ポイント上昇の5.1となった。来期は、今期より4.4ポイント上昇の9.5と、改善を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは前期比1.0ポイント低下の-2.6となった。建設業が5.3ポイント低下の20.3、小売業は3.5ポイント低下の-20.5となった。

【特別調査】「まち・ひと・しごと創生」と中小企業

- 「しごと」づくりへの対応策 「販路開拓の強化」が最多回答 42.9%
- 人材確保に向けた対応策 「中途採用の拡充」が最多回答 34.4%
- 子育て世代への対応策 「わからない」38.1%、次いで「勤務時間面での支援」29.7%
- 地元自治体への期待 「助成金等補助金制度の拡充」が最多回答 42.9%
- 「東京一極集中の是正」、「地方中核都市の機能強化」ともに弱い期待感

<調査概要>

調査対象:当金庫取引先(法人・個人事業者)774先 有効回答数:758先

調査方法:各営業店職員による聞き取り調査 調査時期:平成27年3月上旬

その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒景気動向調査」をご覧ください。



横浜信用金庫